

新官
地方往來
全

柳田文庫

文庫11

A1932



明治三年庚午四月

文庫11
A/1932

官許

地方往來全

東京書賈

青松軒藏版

地方往來

柳田泉子藏
徳信

夫地方之國之根也先揆

地考六尺臺步之間竿城

考及三百坪と相定新田新

開改出芝地空地附寄海

ヒラク カイ イダス シ ツチ ムナシ ツチ フキ シウ

古繩反別地代金上納後拔鉄

下試作地味お應を以て地

高八石盛免合出地之位

應卜上中下田畑斗代分米并

筋漢代早稻晚手糯苗実入

客地汚越石私領上知郷村

清取高掛物六尺給米以藏家

法傳子宿入用出目口延米計

立或去夫全更米お仕束

拾見を名主組改年寄百姓

代田しろ之の立書たてがき耕地こうち一ひと畧がく限田かぎり每ごと

番附ばんぶち立札たてふだ上かみ中なか下した立毛たてけ内見うちみ

合附あひぶち毛拵けし皆みな无な青立あおたて虫附むしぶち立

枯土かれつち付つ煮に逸はなくお改かへ春去はる道みち

具ぐ繩なは筵ひら錘つち拵し箕こ端は所ところ不な錢せん

案内案内之の列り床とこ坪つら刈かり收と入い稻いね子こ

株かぶ表おもて改かへ出で合田あひだ主ぬし村むら及およ人ひと連つ系けい

水旱みづ損あと定免さだめ过あ三さん分ぶん

引上ひきあ換毛かへけ破免やぶめ立た新あらた親おや

定免さだめ年とし本もと成なり定免さだめ相あ当あ増あ

米本途見取石代金納法取

卷割附寄齊目錄意地起

返之免上切添切開烟田米

屋敷成流作及了取改豆

居並米口就貯穀因粗之

年新穀より替り廻米之

上中下手本米欠米俵括外

と一五里外結賃廻り米

海西海号日和見定港出

帆空船送快取中目施入

津。海。紅。浦。收。人。籠。文。取。之。

積。所。着。岸。搭。立。龜。俵。貫。

目。然。改。取。足。極。下。限。り。後。之。

納。在。屋。上。系。船。中。法。條。目。

所。城。米。浦。觸。様。俵。袋。箱。

入。海。上。船。破。取。役。所。陣。屋。

至。進。水。取。注。込。入。播。拵。赤。

折。破。網。切。拂。布。欠。狼。米。注。送。

空。割。捨。舟。足。を。狂。め。取。取。拵。

取。水。主。炊。系。担。各。難。漂。着。

浮花物陸上海中掛揚濡

澤子曠腐更痛于立再積

是又之所法掛入札去一

納不足心者以花出米糶增

見分役人差圖は任買物切

下不膠瀨取水揚肉括外是

細古儘在古豆代米出張紙

直限之友増口氷色分結夏

秋成皆納麦他少物成運上冥

加山子米浮汶多水漁穠菜種

熨 実漆 粟 稗 炭 燒 水 車 油

絞 酢 醬 油 酒 造 稼 扱 又 川 出

水 名 所 流 失 堤 川 除 用 惡 水 堰

植 類 橋 定 式 急 破 止 善 清 目 論

見 川 除 蛇 籠 聖 桐 牛 笈 牛 劍

梓 沈 梓 杭 苜 立 成 木 安 家 木

合 掌 木 雜 木 鈞 木 梁 木 水 劍

杭 虫 石 積 浪 除 堤 安 馬 踏 腹 附

去 取 羽 口 葉 店 竹 麩 朵 萱 藁

藤 橋 臺 行 桁 魁 巾 板 笠 木

地チ原ハ渡ワ木キ田タ男ヲ木キ録ロク終シユ釘キウ扒ハ植シ甲カ

蓋フシ板イタ極キョク尻シラ板イタ兩リウ袖スエ去キ抱ウラ柱チユウ扣カク

木キ戸コ前マヘ目メ通トウ天テン糸イト糸イト日ヒ杓シヤク方カタ立タチ

賃チン米メ巷コウ五ゴ枝シ抄シヤウ米メ人ニン足ソク海カイ井セイ

後キチ村ムラ及ヨリ也ヤ出イダ火ヒ類ルイ燒ヤク人ニン弓ユウ

怪ケ家カ小コ屋ヤ掛ケ農ノウ具グ代ダイ拜ハイ借カク

鞆ツツ細ホソ簾シタ弓ユウ鞆ツツ稻イナ板イタ肥ヒ桶ツツ印イン笥セ

方カタ力リキ凶キウ年ネン不フ化カ病ビョウ鞋セウ走ソウ種シユ穀コク

麦マキ代ダイ飢イ使シ食シヤク去キ饒ニウ江カウ救クウ法ホフ巢ソウ

鷹トウ山サン山サン林リン雪セツ打ウチ主シュ枯コ小コ苗メウ木キ

成木伐遷せいぼくばつせん五海道ごかいどう服はく往むかひ還かへり諸しよ

家系けいけい勤きん交代こうたい沖用おきのう通とほ行ゆき

杖拂つゑはらひ法はふ算さん所ところ口留くちどめ先觸せんしゆく病びやう

河津かづ朱しよ印いん法はふ禮文らいぶん繪符えふ関札かんさつ

福助ふくすけ郷人きやうじん馬出まで定賃ぢやうぢやん鈔しやう本ほん子こ

莊ぢやう尻しり宗そう掛か結むす荷か葉は物もの引ひ戸と

垂たれ駕籠かご長持ながぢ兩掛りやうか作しよ子こ合あ角かく

箆へい宰領さいりやう付つ添そ貫目くわんめ煎せん改かへ体てい

泊とど旅りよ箆へい木き鈔しやう茶代ちやだい性しやう素そ並なら

本渡ほんわたり和わ川がは越こ古こ對たい雇こひ割わり増ま掃はら

除丁場 延立日 帳本陣問屋

當番 此後 勅之 是又 多奉 出入

添簡 奉行 和呼 出吟 味評 定

所式 日立 人會 内寄 合目 安評 状

双方 訴考 對交 中象 嚴意 和

害家 督臨 式押 領私 款賣

懸格 料淨 家質 貸貸 借不 賣

難混 議定 矣變 裁許 給苗

裏書 禮授 讓状 於内 海

和波 以届 海口 味下 山浦 地境

シメスカナル オコナヒ
ロイ
カイカウウタフ
アヒ
ヤマ
カチニシム

稜場八合を地政見分。水害分

是国水場。熟談。札切支

丹博。夷火附。徒黨。強海。古法度

四季。お。穽。原。銃。炮。村。差。出。明。細。帳

宗判人。五人。組。帳。茶。書。皆。海

目錄。海見。禮。文。村。入。用。支。銃。帳。小。あ

連。不。隱。賣。女。旅。芝。居。法。制。抄。在

方。相。撲。赤。子。人。成。不。交。與。川。出。家。社。人

修。路。山。伏。浪。人。虎。多。博。時。改。替

女。様。多。非。人。拘。貫。止。宿。勸。化。合。力

田地。水代賣切。昭步。止。實地。

年季。之。字位。及。別等。水長。

谷名。奧所。年季。何。不。清。度。湯。化。

直。小。他。名。田。小。作。水。小。作。讓。渡。書。入。

作。德。貴。百姓。未。進。五。分。以上。換。色。字。

物。免。除。返。納。年。延。換。使。之。發。

死。首。猛。溺。死。行。傍。村。送。病人。

相。果。達。札。仮。埋。村。頼。意。美。

口。痛。社。付。后。輪。醫。師。療。治。不。癒。

食。賣。女。お。對。死。死。骸。取。捨。

人殺盜賊八牢囚人獄門死

罪遠多追放不掛手鎖色料

教仕置八墨急度此教

歸任困窮取外欠落以新

不知永尋舊雜勘當帳外

拾物家付名所級者方教以又

孝以奇特名字帶刀以褒美

至報頂戴九十歲以上老養

小兒苦育自餘起返農業

出精家内膝袋村柄立直竹具奉

儉約けんやく。あいまりひやせう。百姓ひやくしやう相續さうじく子孫しそん繁昌はんしやう
ホトヨシ ツマヤカサウシユ 風俗ふうぞく淳厚じゆんこう方かた紙し
ホトル タヒラ 昇平せいへいと云いふ

市野家補正并書

地方注釋終

地方凡例

一 永き又丈々人集をあるり永を織工車とと録を捕を
 無
 一 田地
 壹町 三子坪 壹反 三百坪
 壹町 三拾坪
 古格とと及三百六拾坪とと間等も六尺三寸と用と和も
 あり
 一 石盛と地之位より上田を歩み畝を計取と尺れハ壹反
 畝之石あり此畝又合の格ととて壹石五斗とあり別ち一反
 のり壹石五斗の石盛たりあり

免々五斗少当り地味劣れ下り田稗田林畑切畑開畑あり
 不石盛も三ツ一付位も何れ斗代とすも石寒く如外
 一田の形劣へる等紙を多く巻とつて紙分米とす
 一取米を多く紙割れを免袋々と知りたり
 一三斗百石付六尺給米ハ米到斗ハ紙巻入用々水或百
 五十文等紙巻入用ハ米六斗と懸り是を三段とす
 夫金更米懸り六尺給米何れぬ之紙紙を多く巻たり
 三段と懸り是を六斗と懸り
 一斗五斗米三斗五斗米或斗と懸り本石ハ三斗七斗と懸り
 三斗五斗を割る出目本石同
 一石米ハ三斗五斗米懸り是を本石と三五斗を割り
 一検見色取の法も三斗合毛又と或合毛を合毛と一斗限り

内見帳小寄書より取合毛掛より付出一穀のことあり
 字何
 其蓋

一上田を所ト 内見三合毛 改五合
 一 下田を及ト 内見三合毛 改三合
 田之 何

右内見三合毛と或合毛より取出平均を合毛と是を所を及ト
 之と懸り是を三斗と懸り是を六斗と懸り是を九斗と懸り
 是より付合九石六斗或加へ格田五斗五斗と懸り是を四斗と懸り
 取米二石六斗五斗七斗八斗と懸り是を減ハ付の石と懸り
 一五里外所懸り中々材方より己甲内ハ材扱ふと取出より印ハ
 結ばたり
 一籠儀ハ懸儀の内より取除るべき三粒六儀提出一貫目懸り
 此分を懸り一儀ハ平均より懸り

三拾六俵 肉 拾二俵

けふふ一三俵

廿ノ目

拾壹俵

けふふ一武俵

廿ノ目 拾貳俵

けふふ一武俵

廿二ノ目

一七俵 平均也 目立又百目外也 廿年式并

とかり 是を袋にお入り 各層の目高と一々減と知

一俵 米を上方上米 厚皮 昭中 好飯 米なり

一欠米を 本米 百石 有米 式斗 了 飯也

一海 中より 沈之 俵と 惣ゆけ こと あり 生米 多の 二十分 一 式

米なり

一西也 米と 運賃 米と 仕法 法

一石 米 四拾 八石 九斗 六升 以内 運賃 米 石 有米 式并 ことり

法 一合 式 あり 有米 拾 八石 九斗 六升 或 割 水 八石 也 米 四斗

八石 也 出 こと 水 八石 式 ことり 有米 九斗 六升 ことり

ことり あり

一買 納より 百俵より 運賃 投 代 納 式 拾 五 石 五 斗 五 升 五 合 代

一 切 下 石 ことり 買 納 の 有 米 俵 有 米 五 合 ことり 差 あり ことり

一 細 五 俵 代 米 三 割 増 あり 俵 有 米 俵 有 米 俵 ことり 合 ことり 飯 也

一 俵 大 豆 代 米 ことり 斗 有 代 米 五 升 ことり 飯 也

一 口 二 石 一 水 ことり 二 水 三 拾 文 ことり 飯 也

一 包 五 限 ことり 合 百 あり 有 限 五 合 ことり あり

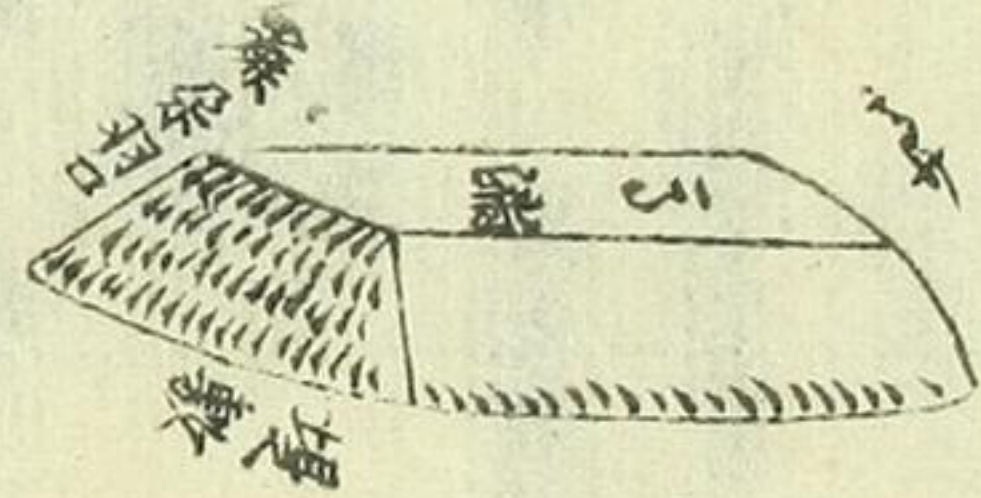
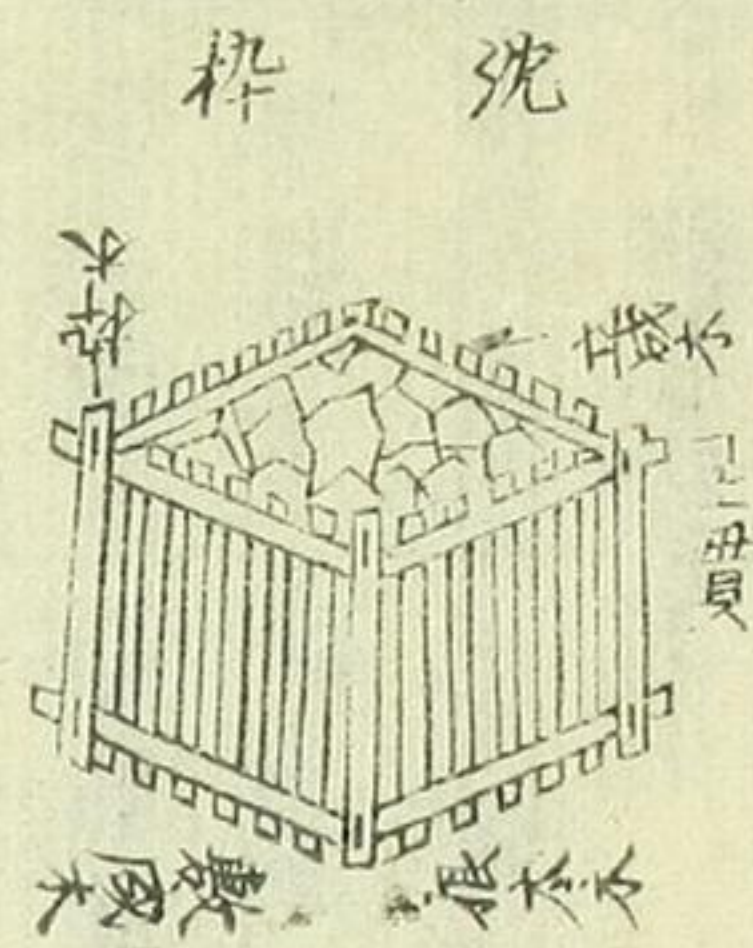
一 蛇 籠 ことり 長 五 間 有 限 ことり あり 此 石 俵 三 合 ことり あり

一 俵 法 ことり 八 斗 七 升 或 是 け 合 世 國 法 七 九 ことり 長 五 間 ことり あり 三 六 ことり 割 ことり あり

一 沈 枰 肉 法 ことり あり あり

此 石 式 枰 四 合

亭丈五丈と懸け合を四尺二寸或は五寸或百柱六寸割る



一堤長 八柱間 平均

高七尺
八尺

此去七寸三柱を併

算法を割八尺或は六尺より一丈八尺より三寸七尺と加へ或は割る高
を丈武尺と懸け長八柱間とかけ二六寸を割る

一小屋掛を寺軒より大俵八寸五分より寸五分返初あり

一種初度園東甲州伊豆と及又初七外表八外上方中國西を

三外山名北園と九外有あり三割の初をかくる算法あり

一夫食八男と一日初合六十五以上十五以下女の一日初武合の
凡三十日分付手

一尺ノ 長武間

此尺ノ九分五厘六毛

目通 長尺を寸

術小目通と三六寸刻り是城算法不むと懸合廿目通より
上を分付手寸と細く引算法を合を五と懸け右を算法
懸合を七九と懸け長尺と懸けを武寸と割る

一貫目 長棒算籠 人足六人 但算籠目方手道具共合六貫目同或は

一切棒算籠 人足四人 但算籠目方手道具共合六貫目同或は

一垂算籠 人足三人 但算籠目方手道具共合六貫目同或は

一宿算籠 人足二人五分

一長持両掛算籠其外諸荷物八都人足一人七貫目持の定有七
貫七百目八一人一分拾貫五百目八一人半拾四貫目八二人の割合を

荷物の量目小随ひ相定貫目改濟の札相渡り

一貸金利足の割 壹ヶ月金壹千の利より 金拾百ハ 三割

金拾百ハ 貳割 金貳拾百ハ 壹割五分 金三拾百ハ 壹割

金六拾百ハ 五分

術ニ三五と置字金より割計ハ何割と知り

一壹ヶ月の利足を算す法ハ 貳拾百ハ 壹千の利ハ 壹割五分ハ

壹割五分と置法 貳百ハ 壹千月壹百の利ハ 銀七分五厘
と知るあり

一利足何拾百ハ 壹千ハ 壹千と知り 六ヶ月金壹千ハ 利

銀七分五厘ハ 壹千ハ 七千五厘と知り 法拾五ハ 割計ハ 金貳拾百

と出る則ち 貳拾百ハ 不付壹ヶ月金壹千ハ 利足と知る

一錢百文ハ 白米を外貳合の時 九五の代を問ふ

各 四拾文

法ハ九拾百ハ 壹千ハ 貳合と割計ハ 八拾文と知る 是賦法

一して 壹千ハ 壹千と知る

一切取ト 壹千ハ 水帳ハ 壹千ハ 一の繩文と 務ハ 賦計ハ 子帳ト 如ハ

質入すハ 一課徴と 壹千ハ あり

一質地を 年季拾年と 限る 壹千ハ 壹千ハ 其田地と 水地と 賦

直小作と 不取ハ 賦計ハ 賦名田小作と 不取拾年 以上

小作ハ 賦計ハ 小作と 不取地と 壹千ハ 子細あり 地所を 壹千ハ

事 兼 一

一 年貢 賦計 壹千ハ 一 兩ハ 賦計 壹千ハ 不取 小作

一名 壹千ハ 一 兩ハ 賦計 壹千ハ 一 兩ハ 賦計 壹千ハ 不取 小作

小作 賦計 壹千ハ 一 兩ハ 賦計 壹千ハ 一 兩ハ 賦計 壹千ハ 不取 小作

